

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2017年度 第1回通常理事会議事録

開催日時 2017年6月7日(水) 14:00~15:00

開催場所 松江：オープンソースラボ (松江市朝日町478番地18 松江テルサ別館2階)

東京：笹田理事任意の場所

福岡：田中理事任意の場所

理事総数6名

出席理事5名 松江：松本行弘(理事長)、井上浩(副理事長)、山根泉(理事)

東京：笹田耕一(理事)

福岡：田中和明(理事)

出席監事 今岡正一

事務局：前田修吾(事務局長)、横田早百合(事務局員)、徳永翔二(事務局員)、江角俊秀(事務局員)

オブザーバー：永岡久典(島根県)、周藤万里絵(島根県)、佐藤文昭(松江市)、本田智和(松江市)

定款第39条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数6名中、定款第40条第1項及び第2項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事5名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。冒頭、松本理事長より有意義な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があった。

■審議事項

審議事項1：「2016年度事業報告書案」

定款第7条第1項に基づき(審議事項2以降も同様)、議長の指名により徳永事務局員が2016年度事業報告書案の説明を行った。

採決の結果、原案どおり可決した。

審議事項2：「2016年度決算案」

議長の指名により横田事務局員が2016年度決算案の説明を行った。また、説明後、今岡監事が監査の結果、適正に会計処理がなされていることを報告した。

採決の結果、原案どおり可決した。これにより本決算案をもって理事会決定とし評議員会に上程することとなった。

■協議事項、その他

協議事項：「Ruby25周年記念イベント」

議長の指名により徳永事務局員が、Ruby25周年記念イベントに関する以下の点について説明を行った。

- ・今後のスケジュール案
- ・開催組織及びプロジェクト担当者、イベント日時及び会場の検討

議場では今後の進め方と役割分担について議論があり、大まかな枠組みについて日本Rubyの会と調整した上で、有志を募り実行委員会を組織し、具体的なコンテンツ及び協賛金等についてはそちらで検

討を進めていくことになった。

その他：「2017年度事業計画の進捗状況」

議長の指名により徳永事務局員が、2017年度事業計画の進捗状況について部分的に報告を行った。

- ・ Ruby の教育分野での活用：GR-CITRUS マニュアル整備&チュートリアル作成プロジェクト（専門学校、大学の教養科目で利用できる mruby プログラミングの教育教材を作成し、無償公開するプロジェクト）
- ・ 広報活動：Ruby アソシエーションの活動紹介パンフレットの作成、Ruby アソシエーションの公式パンフレットのリニューアル。

以下、質疑応答。

笹田理事：教育教材を作成するプロジェクトについて、様々な選択肢を考うるなかで今回のプロジェクトを選択した理由および選定方法をお聞かせいただきたい。

徳永事務局員：Web を使ったチュートリアルはインターネット上に多々あるので、そういったものではなく且つ学生に興味を持っていただけそうなものとしてデバイスを使ったセンサープログラミングを検討し、尚且つ Ruby を活用できる分野でもあるので、今回こういったプロジェクトを進めることにした。また、島根大学で昨年度の教養科目のひとつとして GR-CITRUS を使った授業を実施したそうで、今後マニュアルおよびチュートリアルを作成すれば実際に授業で使ってみていただけるとのことで、現場からのフィードバックを得ることができるだろうという点も考慮した。

井上副理事長：他にもこういったプロジェクトの候補となるものがあれば、今後も情報共有をお願いしたい。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第 43 条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2017年6月7日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人 Ruby アソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事 今岡 正一

